

千綿っ子だより

ちからを合わせて
わらい声あふれる
たのしい学校



心を見つめる教育週間

6月23日から「心を見つめる教育週間」がスタートします。

この取組は、長崎県内のすべての学校で実施されるものです。(各学校によって期間はちがいます。)スタートのきっかけとなったのは、いまから20年ほど前に長崎県内で起こった痛ましい事件でした。

私もそうでしたが、長崎県内の大人たちは、あまりにもショッキングな出来事に危機感を抱き、なぜこんなことに・・・と心を痛めました。考えても考えても答えが見つからず、みんなで知恵を絞って、子どもと本気で向き合うことを誓いました。

子どもたちの心はなかなか見えないので、みんなで一緒に子どもたちの心を見つめ、大切に育ていこうという切なる願いからスタートしたのが「心を見つめる教育週間」です。この願いは、決して風化させてはいけません。教育週間で、様々な教育活動を進めてまいります。ぜひ、多くの皆様に足を運んでいただき、子どもたちの様子をご覧いただければ幸いです。お待ちしております。



長崎っ子の心を見つめる教育週間キャラクター「こぼん」



そのまま
よかとよ



ひとりじゃ
なかとよ



がまんせんで
よかとよ

晴耕雨読

雨に打たれるあじさいの花が街を彩る季節です。昔の人は、雨降りのような自然の営みを天の恵みととらえ、その恵みを上手に受け入れながら自分たちの生活を創り上げてきました。いやだなと思う雨も、違う角度から見ると貴重な雨と考えることもできますね。

「晴耕雨読」とは：晴れた日には畑を耕し、雨の日には読書をする生活のこと。悠々自適な生活をいう。



課題図書が
入荷しました！



あいことば

代表委員会で「ことばづかい」について話し合いました。あいことばを決めて、1か月間みんなで意識して使ってみようという取組です。今月のあいことばは、「**ありがとう**」です。「ありがとう」があふれる千綿小を目指しています。

